

日本福音主義神学会西部部会 2015年度春期研究会議

「社会に生きるキリスト者～職業倫理」
2015年4月20日(月) 神戸ルーテル神学校

<プログラム>

- 9:30 受付開始
日本福音主義神学会西部部会理事会
- 10:00～10:30 開会礼拝 司会・奨励 坂井純人(コーディネーター長)
- 10:30～11:15 発題講演Ⅰ 司会 鎌野直人(コーディネーター)
① 「聖書は職業倫理について何と言っているか」
瀧浦 滋氏(改革長老教会岡本契約教会牧師、神戸神学館教務会主任)
- 11:15～12:15 分科会
- 12:15～13:15 昼食(事前申し込みが必要、500円)
日本福音主義神学会西部部会理事会
- 13:15～13:45 日本福音主義神学会西部部会総会
- 13:45～15:15 発題講演Ⅱ 司会 鎌野直人(コーディネーター)
② 「教会の歴史の中で職業倫理はどのように考えられてきたか」
橋本昭夫氏(神戸ルーテル神学校教授、宝塚ルーテル教会牧師)
③ 「職業倫理は現代の社会のなかでどのように実践されてきているか」
高木 実氏(キリスト者学生会総主事)
- 15:15～16:00 質疑応答
- 16:00～16:30 総括・献金・閉会の祈り 進行 正木牧人(コーディネーター)
- 16:30 散会

2015年1月16日

日本福音主義神学会西部部会・春期研究会議へのお招き

今年の春期研究会議では、「社会に生きるキリスト者～職業倫理」をテーマとして取り上げることにしました。ルターによるプロテスタント宗教改革に端を発する福音の理解をプロテスタント共通の信仰として、救われた自由と喜びをもって神と隣人に仕える奉仕と労働倫理を通して、世界を変革する御言葉の力を、全てのキリスト者がこの世界全体で証ししてきました。しかし、500年の星霜を経て、この宗教改革の精神は、どのように継承され、実践されてきているのでしょうか。現代の世界的な潮流に目を向けるならば、激しい世俗化の波が、教会と社会を覆っています。この流れに抗するかのような、全包括的福音の宣教、全人格的献身コミットメント等の提言が目を引きまします。日本でも、特に東日本大震災等の深刻な危機的経験を経て、福音主義神学の全包括的福音理解と実践の意味を問う声がいっそう強まっています。このような時代に向き合う福音主義神学は、どのようなキリスト者を社会に送り出すことができるのでしょうか。

この問いに対して、「聖書は何と言っているのか」「教会の歴史の中でどのように考えられてきたのか」「現代の実践の中でどのようになされているか」を3人の講師に講演をしていただきます。加えて、一般の研究発表や今回の主題に関係する研究発表も分科会発表として歓迎致します。牧師・神学者のみならず、全てのキリスト者が、特に次世代を担う若いキリスト者の方々が、福音主義キリスト者としての信仰を養われ、有神論的世界観、人生観を持って召命の現場に遣わされるように、お祈りの内に覚えていただき、ぜひ深い関心をもって、皆様が今回の学びにご参加下さいますように心よりご案内申し上げます。

日 程 2015年4月20日(月)

テーマ 社会に生きるキリスト者～職業倫理

発 題 瀧浦 滋氏 (改革長老教会岡本契約教会牧師、神戸神学館教務会主任)
橋本昭夫氏 (神戸ルーテル神学校教授、宝塚ルーテル教会牧師)
高木 実氏 (キリスト者学生会総主事)

会 場 神戸ルーテル神学校 <http://www.koluthse.jp/>
〒651-0052 神戸市中央区中島通2-3-5
(JR・阪急・阪神三宮駅から、市バス2番系統「阪急六甲」方面行き、青谷バス停下車すぐ)
Tel 078-221-6956 Fax 078-221-5825

<研究発表募集>

氏名、所属、発表される概要をコーディネーター長の坂井純人にメールでお知らせください。アドレスは srsakai9161@jeans.ocn.ne.jp です。締め切りは2月末日。発表時間20分、10分の質疑応答。

<昼食>

4/13(月)までに office@koluthse.jp 宛に「福音主義神学会弁当申し込み」と明記の上、昼食(500円)を申し込む人の名前をお送りください。当日の受け付けはありません。

<コーディネーター>

坂井純人 (改革長老教会東須磨教会牧師、神戸神学館教師、神戸改革派神学校講師)
正木牧人 (神戸ルーテル神学校校長、伊丹ルーテル教会牧師)
鎌野直人 (関西聖書神学校学監、神戸中央教会協力牧師)